

2022年12月16日

沖縄振興開発金融公庫が発行する「サステナビリティボンド」への投資について

相模原市(以下「本市」という)は、このたび、沖縄振興開発金融公庫が発行するサステナビリティボンド(第31回沖縄振興開発金融公庫債券(サステナビリティボンド)、以下「本債券」という)への投資を決定しましたので、お知らせします。

本債券の発行による調達資金は、沖縄が抱える社会・環境的課題の解決に資する事業への融資又は出資に活用され、国連の持続可能な開発目標(SDGs)⁽¹⁾の達成にも貢献するものです。

なお、「サステナビリティボンド」とは、調達資金の用途が、環境改善効果を有するものであること(グリーン性)及び、社会的課題の解決に資するものであること(ソーシャル性)の双方を有する債券であり、ESG⁽²⁾投資の対象となります。

また、本債券は、ICMA(International Capital Market Association / 国際資本市場協会)が定義するグリーンボンド原則2022、ソーシャルボンド原則2021、サステナビリティボンドガイドライン2021及び環境省が定めるグリーンボンドガイドライン2022年版に適合する旨、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社⁽³⁾からセカンドパーティ・オピニオンを取得しております。

本市は、本債券を始めとしたサステナビリティボンド、グリーンボンド、ソーシャルボンド等への投資を継続的に実施することで、今後も社会的責任を果たして参ります。

<本債券の概要>

銘 柄	第31回沖縄振興開発金融公庫債券(サステナビリティボンド)
年 限	10年
発行額	100億円
発行日	2022年12月16日

(1) 持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと

(2) ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とは、これらの要素を重視・選別して行う投資のこと

(3) DNVビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社は、ノルウェー・オスローに本部を置く第三者評価機関である「DNV」の日本法人(兵庫県神戸市在)

以上